
オールスター逃走中～最凶の動植物園～

ikki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オールスター逃走中〜最凶の動植物園〜

【コード】

N0901U

【作者名】

i k k i

【あらすじ】

スマブラメンバー&作者さん&多数のマンガ、アニメの主人公のオールスターが逃走中!!

果たして、80分を逃げ切り賞金を獲得する物は現れるのか!?

プログラマーゲームのはじまり〜(前書き)

はじまります〜!..!

更新はスマブラ逃走中より遅いですが、よろしくお願いします!..!

プログラマーゲームのはじまり

ここは、未来のクロノス社・・・

そして、その一室・・・

月村「これより、メンテナンス逃走中を行う。」

そこには、逃走中の生みの親、月村サトシ。

ピッ！

そして、ボタンを押すと目の前のモニターには観客の詰めかけたスタジアム……

幹部A「なかなかの客入りだな。」

月村「まあ、機械の確認のメンテナンスでも逃走中は逃走中だからな・・・」

今回の逃走中は、日ごろ使っている機会を修理してしっかり作動するかの確認用の逃走中らしい。

(それでも観客を入れるのが月村流。)

すると、月村はそばにあったマイクを手取る。

月村「みなさん、会場に集まっていたいただきありがとうございます！」

スタジアムの観客「ウォォー！！！！」

熱狂するスタジアム。

月村「間もなく逃走中を開始いたします！もうしばらくお待ちくださいー！」

観客「オォー！！」

それだけ言うと、月村はマイクを置いて再びコンピュータに視線を落とした。

ズン…ズン…

月村は、コンピューターに向かって何やら打ち始めた・・・

D
A
T
A

P
L
A
Y
E
R

2
9

P
L
A
C
E

R
D
E
N

A
N
I
M
A
L
S

A
N
D

P
L
A
N
T
S

G
A

T
I
M
E

8
0

すると、観客のいるスタジアムには実況の声が・・・

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

スタジアムにて

アナウンス「皆さん、大変お待たせしました!!」

観客「ウオー……!!」

アナウンスに、歓喜の声を上げる観客たち。

アナウンス「皆さん、ただ今より「Run For Money  
逃走中」のメンテナンスに

ともなつた、特別逃走中を行います!!」

観客「オォー……」

アナウンス「そして、この29人が今回の逃走者です!!」

すると、スタジアムのモニターには29人の逃走者の画像が。

アナウンス「さあ、誰が逃げ切るのでしょうか!？」

5分後にゲームスタートです!!」

~~~~~  
~~~~~

## 月村の部屋

月村「さてと・・・逃走成功時の倍率でも確認するか。」

プシュープシュー！

機械をタッチする月村。

すると、現れたのは逃走者の逃走成功時の賞金の倍率だった。（未  
来で逃走中は賭け事らしい）

月村「やっぱりNO・19の人気の高いな・・・逃げ切ってほしく

ないものだ。」

人を番号で呼ぶ月村。

月村「あつと！いけないや。アシスタントを投入するのを忘れてた  
！！」

すると、月村はある事忘れていたことに気が付いて機械をタッチした。

ピッ！ピッ！

「月村「もう忘れたことはないな・・・さて、私も観戦するとするか。」

そして、逃走中が始まった・・・

始まった逃走中！ 果たして、逃げ切れるものは現れるのか！？

次回に続く。

プログラクゲームのはじまり (後書き)

多分次の更新は未定・・・

どうしよう・・・

## 逃走データ(前書き)

大逃走からこつちに更新を移動です!!

## 逃走データ

ゲーム開始5分前に迫った、メンテナンス逃走中・・・

月村「さて・・・観戦の前にデータの閲覧でもするか・・・」

ピッ！ピッ！

その支配人、月村サトシは今回の逃走中のデータを見ようとパネルをタッチする。

< G A M E     D A T A > | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |

今回のエリアは、とある動植物園。

動物園や小型遊園地のある西エリア

自然をそのまま屋外に展示する植物園がある東エリア  
の2つのエリアに大まかに分かれている。

## 逃走者紹介

N O . 1    マリオ    (スマブラ枠)

世界で活躍する任天堂の大黒柱。  
今回の逃走中も活躍が期待される。

NO.2 ルイージ (スマブラ粹)

マリオの弟でこちらも任天堂の大黒柱。  
こちらも活躍に期待。

NO.3 ドンキーコング (スマブラ粹)

あくまで独断であるが、世界で1番認知度の高いゴリラ。(多分)  
・  
・  
大きな体が不安材料だが、それを乗り越えて逃走成功なるか!?

NO.4 フォックス (スマブラ粹)

3D化も決定した「スターフォックス」の主人公。  
動きも俊敏で判断力も高い。逃走成功本命の1人。

NO.5 カービィ (スマブラ粹)

何でも吸い込み、相手の特徴を「コピー」する別名<ピンク玉>  
体が小さいため、隠れながらの逃走に期待が高まる。

NO.6 ヨッシー (スマブラ枠)

マリオのパートナー的存在。マリオカートやパーティーでも活躍。動きは速いが、奇行が目立つために投票は少ない。

NO.7 サムス (スマブラ枠)

謎の生命体「メトロイド」と戦う女戦士。  
ゼロスーツで動きが警戒なため、投票はそこそこ。

NO.8 ピカチュウ (スマブラ枠)

ポケモンの中でも1番の人気を誇る、アニメでもゲームでも活躍するポケモン。  
小柄、俊敏さを備え、逃走成功を狙う。

NO.9 リンク (スマブラ枠)

3D化した「時のオカリナ」の主人公。(自分はトワイライトプリンセスの方が面白そう)  
ミッションへの積極性、俊敏さに期待がかかる。

NO / 10 ネス (スマブラ枠)

スマブラ以外での活躍は少ないものの、スマブラでは大人気。こちらにもミッシヨンの積極性に期待。

NO / 11 プリン (スマブラ枠)

カービイと同じく愛称は<ピンク玉>  
逃走時に「ころがる」を使うなどで今回のダークホースの1人。

NO / 12 キャプテン・ファルコン (スマブラ枠)

ネスと同じくスマブラ以外での活躍は微妙・・・ 通称ファルコン  
とにかく足が速く、逃走成功候補の1人。

NO / 13 ルーク (テイルズ枠)

テイルズの主人公。 赤い髪がトレードマーク  
投票こそ少ないものの、身体能力はピカイチ。期待がかかる

NO / 14 江戸川コナン (コナン枠)

数々の難事件を解決してきた天才小学生（もともと高校生）  
身体能力も高いが、なにより頭脳をどう使うかが見どころ。

NO・15 平沢唯（けいおん枠）

けいおんの主人公。ポジションはギター。  
ヨッシーと共に奇行が目立ち、投票は少なめ。

NO・16 吉井明久（バカとテストと召喚獣枠）

バカテストの主人公で、頭が残念な人・・・（この人もやや奇行が目立つ）  
バカは疲れを知らない・・・と言われているが、タフかどうかは分からない・・・

NO・17 モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE枠）

手のび〜〜〜るワンピースの主人公。（あれがあればキーパー  
なんぞ楽々・・・）  
海賊で身体能力が高く、期待もそこそこ高い。

NO・18 上条当麻（とある魔術の禁書目録枠）

とあるシリーズの主人公。ある意味生きているのがおかしい高校生。  
右腕はハンターをおびき寄せるといわれるため、投票はわずかしかない。

NO / 19 御坂美琴 (とある魔術の禁書目録枠)

NO / 18の事が好き? な中学生。正直、電撃がピカチュウよりアカン人  
走攻守? 3拍子揃っていて投票率NO / 1。

NO / 20 ワーグナー (作者さん枠)

「逃走中同盟」の創始者で少し行き当たりばつたり? なリーダー。  
身体能力は普通だが、どんでん返しを起こす可能性も!?

NO / 21 翡翠煉 (作者さん枠)

多数の逃走中を、効率よく書く万能な作者さん。  
身体能力はそこそこで、ミッションにも積極的

NO / 22 カイ・R・銃王 (作者さん枠)

西京圭を主人公とした小説を、驚異的なスピードで投稿するスゴい作者さん。通称、銃王さん  
俊敏さに長けていて、投票もそこそこ多い。

NO / 23 西京圭 (作者さん枠)

銃王さんのオリキャラ。底知れぬ身体能力の持ち主。  
身体能力は全逃走者NO / 1だが、知名度で御坂に負けて投票は2位。

NO / 24 藤龍 (作者さん枠)

サンデー&マガジンのキャラで逃走中を書いている作者さん！(一応僕も出てます！)  
身体能力はまあまあだが、期待度はNO / 1！

NO / 25 ゆうやん (作者さん枠)

誰もが予想しないミッションを考える作者さん！！  
短距離はピカイチ！ 逃走成功の期待も高い。

NO / 26 鶴久保ゆうすけ (作者さん枠)

無双OROCHIのキャラを使って逃走中を書く作者さん！  
ミッションには積極的で、期待も高い。

NO / 27 希羅 (作者さん枠)

鶴久保ゆうすけさんのオリキャラ。 なかなかの身体能力！  
身体能力のバランスが取れていて、期待度は高い！！

NO / 28 パルポン (作者さん枠)

テイルズ系の小説を書く作者さん！！  
期待は高く、その期待に応えられるか！？

NO / 29 スイーナ (作者さん枠)

ポケモンで逃走中を書く作者さん！  
逃走成功への思いは高く、やる気で逃走成功を狙う！

スタッフ i k k i

エリアをのんびりとウロウロしている作者。  
スタッフだが、自覚はない……

ゲーム時間は80分。

賞金は1秒に200円ずつ上昇し、逃げ切れば96万円を獲得。

自首は、i k k iからテレホンカードを貰って

公衆電話で自首を宣告すれば完了。

その時点の賞金を獲得できるが、

代わりにハンターがエリアに1体放出され、「裏切り行為」となる。

-----

月村「こんなところか……お、システムが作動し始めた……」

月村がデータを見終えた直後、ゲームが始まる・・・

次回に続く。

## 逃走データ（後書き）

アニメキャラは1話見ての僕の感想、

作者さんはあくまで僕の予想でデータは作っています。

## オープニングゲーム(前書き)

### 追加情報

今回は、1人1人にカメラマンを配置です。

## オープニングゲーム

ゲーム開始前 動物園エリアの入り口に集められた29人の逃走者  
たち……

マリオ「アレがハンターボックスか……」

そして、彼らの目線の先には3つのハンターボックス……

ワグナー「どんなオープニングゲームなんだろ……」

ルフィ「楽しみだな〜!!」

ピンポンパンポン・・・

i k k i (放送) 「ようこそ。逃走者の諸君。これより、ゲームを始める。」

日も出ていない早朝に響くアナウンス・・・

i k k i (放送) 「君たちの前にあるハンターボックスは、現在凍結されている。

ハンターボックスの前にある<解凍ボタン>を押すと、

押してから1分後に解凍し、ハンターが解き放たれてゲームがスタートする。」

ピカチュウ「自分たちの手でハンターを放出させるのか……」

スイーナ「押す人って罪悪感ありそうね……」

オープニングゲーム「ハンターボックスを解凍せよ！」

現在、集められた逃走者の付近にあるハンターボックス。

現在は凍結されており、ハンターが放たれることはないがゲームはスタートしない。

ゲームをスタートさせるには、ハンターボックスの目の前にある<解凍ボタン>を押さなければならない。

なお、ボタンを押して1分後にハンターが解き放たれ、ゲームがスタートされる。

リンク「少し嫌味ですね……」

藤龍「自分たちの手でハンターを放出させるのってイヤな気分・・・」

現在逃走者たちのいる場所とハンターボックスには、少し距離がありボタンを押しに行く逃走者は多少のハンデとなる。

銃王「西京お前足早いんだから行けよ。」

西京「いやいや、これは精神的にキツイって!!」

フォックス「あのボタンを押す勇気のある奴はいるのか・・・」

アナウンスが流れて10分後・・・

ikkii「よし・・・連絡も終わったことだし、次はエリアで誤作動が無いかの

チェックとパトロールか・・・」

その頃、アナウンスの仕事を終えたスタッフのi k k iは放送室を出て

誤作動などが無いかのチェックとパトロールに向かっていた・・・

一方、こちらハンターボックス前・・・

マリオ「ここは・・・堂々とジャンケンで決めるか・・・」

上条「望むところだ・・・たぶん左手でやれば勝てる・・・」

フォックス「よっしゃあ！！勝負だ！！」

立候補者のいない牢獄前では、誰がボタンを押すかのジャンケン大会が開かれていた・・・

マリオ「行くぞー！じゃーんけーん・・・ポン！」

全員「じゃーんけーん・・・ポン！」

マリオ「・・・あいこか・・・」

カービィ「あいこだね・・・」

コナン（これってよっぽどのがない限りあいこなんじゃ・・・）

西京（29人で同時にジャンケンなんて終わるわけねえ・・・）

しかし、29人同時にジャンケンを始め、終わらないんじゃないか  
と思う人も・・・

そんな時・・・

ルフィ「これって俺の手で届くんじゃねえか？」

全員「・・・それだ!!」

ドンキー「それを早く言え!!」

ルフィ「反則かとも思っただけ・・・」

ドンキー「誰も見てないからいい!!」

カメラマン「いや・・・いるんですけど・・・」

フォックス「あの・・・くれぐれもこのことは綿密にお願いします・・・」

カメラマン「はい・・・取れ高さえよければ・・・」

ルフィ「よし！決定！いくぞ！」ビョ～～ン！！

マリオ「あ、ちょっとまって・・・」

ポチッ

ルフィ以外「・・・あ。」

60・・・59・・・58・・・

ルフィ「おっ、カウントダウン始まった〜!!」

全員「・・・逃げろ〜!!」

ルフィの急な解凍により、一目散に逃げる逃走者たち。

上条「ルフィ、お前急に押すなんてないぞ!!」

フォックス「急にもほどっていうものがあるぞ!!」

ルフィ「カメラマンがOKっていうからつい・・・」

急にボタンを押したルフィを逃げながら怒る一同。

10・・・9・・・

そして、逃走者たちが逃げ初めて50秒が過ぎた・・・

ファルコン「いよいよか・・・」

フォックス「だいぶ離れたかな？」

5・・・4・・・

ルーク「大丈夫だ・・・ハンターなんて怖くない・・・」

平沢「ハンター怖いな・・・」

3・・・2・・・

ゆうちゃん「精神的に負けたら終わりだなコレは・・・」

スリーナ「序盤には捕まりたくないな・・・」

1・・・

全員「ゲームスタート!!」

0・・・ プシューー!!

ハンター×3「!!!!」

そして、3体のハンターが解凍されてゲームがスタート・・・

80分の逃走劇が始まった・・・

逃げた時間に応じて賞金を獲得出来る・・・それが

run for money 逃走中

月村の部屋

月村「さて・・・オープニングゲームに異常はなしと・・・順調だな。」

オープニングゲームに故障がなかったことを確認する月村。

月村「さてと・・・5分後にミッションのメンテナンスか・・・」

しかし、彼は休む暇なく次のミッションのメンテナンスへと取り掛かる・・・

~~~~~  
~~~~~

ついにゲームスタートした逃走中。

果たして、逃げ切るものは現れるのか!?

次回に続く。

## オープニングゲーム（後書き）

1日1話投稿で夏休みまでに終わらせるのが理想だなあ・・・

MISSION 1 PART 1 (前書き)

熱中症にはご注意ください!!

## MISSION 1 PART 1

ゲームが始まり、エリアに散らばった逃走者たち。

西京「とりあえず他の逃走者たちよりは結構ハンターボックスから離れた位置に來れたかな？」

逃走者のなかで1番の身体能力を持つ西京は、ハンターボックスから遙かに離れた位置に來ていた。

西京「序盤にだけは絶対に捕まりたくないな・・・」

ピカチュウ「おっ！ここ結構いい隠れ場所になりそう！」

一方、ピカチュウは距離を取るよりも隠れ場所を探していた・・・

ピカチュウ「出るからには長く生き残っていたいな・・・」

最初に距離を取る逃走者もいれば、隠れ場所を見つける逃走者・・・  
逃走中は作戦も重要である。

ハンター「・・・」

対するハンターは走力、スタミナ共に優れたサイボーグ。

「西京「ハンターいた・・・1分もハンデあったのにもうここまで・・・」

ハンター「・・・」

「早くもハンターボックスの反対方向のエリアにもやってきたハンター」。

「もはや、ハンターとはいつでもどこで出会えるか分からない・・・」

~~~~~  
~~~~~

### 月村の部屋

月村「さて・・・ミッションが正常に発動するか確かめるか・・・」

・・・ピピピ

すると、月村はとあるパネルを押した・・・

~~~~~

ピピピピピ・・・

パルポン「メールかよ……」

フォックス「エリア内4か所にハンターボックスを設置した。」

平沢「残り70分になるとエリアに解き放たれ、合計7体となる。」

鶴久保「阻止するには、ボックスの隣にあるレバーを2人同時に下げなければならない。」

希羅「7体……最悪だ……」

MISSION 1 〈ハンター放出を阻止せよ！〉

エリア内4か所に設置されたハンターボックス。

ゲーム残り時間70分になるとハンターが放出され、合計7体となる。

阻止するには、ハンターボックスの横のレバーを2人同時に下げなければならない。

なお、ハンターボックスは動物園に2つ、植物園に2つある。

ファルコン「誰か誘うか・・・」

スリーナ「えっと・・・行ってくれそうな人は・・・」

マリオ「ルイーダにでも電話するか・・・」

逃走者はまだ29人。一見簡単そうなのにこのミッション・・・
しかし、このミッションには大きな落とし穴が・・・

ピリリリリ・・・

ルイーダ「ん？電話か・・・」

ピッ！！！

マリオ(？)「お、ルイーダ！今どこだ？」

ルイーダ「もしかしてミッション？それより兄さんはどこ？」

マリオ(？)「えっと・・・フラミンゴの檻の前。」

ルイーダ「・・・諦めたほうがいいね。」

僕はカバの檻の近くだけど、合流して探すんじゃ間に合わないよ。」

マリオ(？)「え？だってさっきメール来たばかり・・・！！！！
あと5分!？」

ルイーダ「悪いけど、近くにいた人で行ってね・・・」ピッ！！

マリオ「ウソだろ・・・さっきミッション来たのにあと5分・・・」

そう。このミッションの難しさは、5分間という時間の短さなのだ。

ゆうちゃん「この短さは厳しい・・・」

コナン「これは・・・ハンターボックス探している途中に誰が見つけないと厳しいな・・・」

ワグナー「うわぁ・・・近くに誰もいそうにない・・・」

逃走者は、迅速に仲間を発見してハンターボックスに向かわなければならぬ。

平沢「これってヤバイよ！キツネ君、行くよ！！」

フォックス「キツネ君って・・・もはや名前じゃねえ・・・」

多少不安が残るが他に誰もいないし・・・行くか・・・

「

運良く一緒にいた平沢とフォックスは、近くのハンターボックス阻止に向かう。

マリオ「誰かハンターボックスの前に行ったらいるだろ・・・」

御坂「誰かがもう来ているのを期待して行こう・・・」

ファルコン「せめて行かないと恥ずかしいぜ！移動しながら誰かケータイで呼ぼう！」

鶴久保「ハンター増えるのは嫌だな・・・とりあえずハンターボックスの近くまで行ってみよう。」

更に、ミッションには多くの逃走者が阻止に向かう。

果たして、4つすべてを止められるか!?

ネス「ミッションか・・・まだエリアがよく分からないし、行かないでおこう。」

一方、ミッションには興味を示さないネス。

吉井「お、ネスじゃねえか。」

向かう先から、吉井明久・・・

ネス「ウツ……ミッションには行きたくないな……」

しかし、ミッションには行きたくないネス。

吉井「……お前ミッション行く気か？」

ネス「え？」

吉井「実は、俺行きたくないんだよ……お前行くのか？
だったら見なかったことにしてくれ……」

ネス「いや……僕も行きたくないよ……」

吉井「お！仲間だったか！」

ここでペアが出来るも、ミッションには行かない……

ファルコン「お！あれがハンターボックスか！」

その頃、ファルコンがハンターボックスを発見。

ファルコン「誰か来てくれそうな人呼ぶか・・・」

ファルコンが電話を掛けたのは・・・

ピリリリリ・・・

マリオ「あ、ケータイ鳴ってるな・・・」ピッ

マリオだ。

ファルコン「マリオ！今どこにいる？」

マリオ（？）「えっと・・・チンパンジীর檻のまえだけど・・・」

ファルコン「ラッキー！その近くにあるハンターボックスに俺いるんだけど、

よかったら来てくれないか？」

マリオ（？）「マジで！？行くぞ！待っててくれ！」ピッ！

マリオ「よし！行こう。ルージュより断然いい。」

ルイーザ「ハックション！！」

カメラマン「風邪ですか？」

ルイーザ「うん・・・誰かが噂してるのかも・・・」

マリオ「逃げ逃げ・・・」

ミッションに向かうマリオ。果たして間に合うか！？

御坂「あれがハンターボックスね・・・誰もいないわ・・・」

一方、投票NO.1の御坂美琴もハンターボックスの前に来ていた。

御坂「上条ぐらい呼んでみようかしら・・・」

ケータイを取り出す御坂。

ハンター「!!!!!!」

しかし、ハンターに見つかった・・・

御坂「ヤツの番号は・・・ってハンター来てる!!」

御坂もハンターに気が付き逃げる。

御坂「クッ・・・捕まってたまるもんですか!」

その足は前評判通り早く、ハンターとの距離もなかなか縮まらない。

逃走成功予想NO.1の御坂美琴。

果たして、逃げ切れるか!?

次回に続く。

MISSION 1 PART 1 (後書き)

夏休み中に終わるように、課題と頑張って頑張ります!!

MISSION 1 PART 2 (前書き)

とりあえず更新!! 短めだけど・・・

MISSION 1 PART 2

前回の続き・・・

ハンター「!!!!」

御坂「くっ・・・簡単に振り切れるほど甘くはないわね・・・」

逃走成功候補NO.1の御坂は、ミッションの最中にハンターに追いかけられていた・・・

御坂「ミッションをやらないといけないのに……んっあねは……」

吉井「自首ってありかな……」

ネス「でもハンター1体放出しちゃうからヤバイよ……」

逃げる先にネスと吉井の2人……

御坂「アンタたち！ハンター来てるわよ！」

ネス「んっうおああ!!！」

吉井「マジかああ!!!」

2人もハンターに気が付き、逃げはじめる。

ハンター「!!!」

ハンターは2人も視界に捉えた・・・

御坂「悪いけど・・・ちょっと先に行かせてもらっわね。ミッシヨ
ンあるし。」

タタタタタ・・・

吉井「あいつ速すぎるだろ!!」

ネス「連れてきて逃げた!!」

しかし、御坂は抜群の反射神経を生かして2人を抜き去った。

吉井「チッククショー!!どうすりゃいいんだ・・・」

ネス「ハンター近づいて来てる!」

残された2人・・・

吉井（はあ・・・だいぶ疲れが溜まってきた・・・

この状態じゃ絶対ネスに置いて行かれる・・・）

しかし吉井明久は体力に限界が近く、少しスピードが落ちてきていた。

吉井（一発逆転にかけてみるか・・・）「とりゃああ！」

カサカサッ！！！！

曲がり角を曲がってハンターに見られていない時に近くの植物園の植物に身を隠した。

ネス「明久!!! って隠れた!?!」

ハンター「.....!!!」

吉井（頼む・・・バレるな・・・）

逃げているネスと近くに隠れている吉井明久・・・ハンターが視界に捉えたのは・・・

ハンター「!!!!」

ネス「えー！こっち来てる!!」

ネスだ。

吉井「セーフ・・・助かった・・・」

吉井明久は、上手くハンターの視界から消えたようだ・・・

ハンター「!!!」

ネス「いやだああ!!!来るな!!!」

ハンターに追いかけるネス。

しかし、ハンターは彼の走力より早く・・・

ポン！ ネス確保 残り28人

ネス「うぐう・・・ハンター速いよ・・・」

最初の確保者となったネス・・・あつけない幕切れだった。

ピリリリ・・・

ドンキー「確保情報か・・・」

ルフィ「植物園南部にてネス確保。1人目か・・・」

吉井「すまんな・・・」

御坂「あ・・・やっぱり捕まってる・・・悪いことしちゃったな・・・」

ネスが捕まっている頃、ミッションに向かっている逃走者は……

マリオ「えっと……ファルコンが言うにはこの坂を下りたらいるハズ……」

ファルコンとの集合場所に向かっているマリオは、残り時間の影響もあり急いでいた。

ファルコン「ん？あの青のオーバーオール……マリオだ!!」

ファルコンは、マリオの姿を確認。

マリオ「お、いたいた！待たせたな、ファルコン！」

マリオも、ファルコンの姿を確認。

「ファルコン」いや〜・・・良かったぜ。お前に頼んで正解だったな。

マリオ「おいおい！そんなことよりレバー下げろぞ！」

ファルコン「おっと、そうだったな。」

2人「せーの！」 ガシャン！！

ハンターボックス封印成功。残り3台。

マリオ「これで・・・いいのか？」

ファルコン「そうみたいだな・・・じゃあガンバレよ！」

マリオ「そっちもすぐに捕まるなよ!!」

スマブラメンバー2人の活躍で、1つ目のハンターボックス封印に成功・・・

そして、唯一2人で行動しているフォックス・平沢ペアは……

平沢「キツネ君！あの黒い箱が多分そうだよ！」

フォックス「だから俺はフォックス！英語で言えよ！」

平沢「FOX君、急ぐよ。」

フォックス（あ……ダメだなこりゃ。）

トンチンカンな話が続きながらも、2人は着実にハンターボックスへと近づいていた。

平沢「これか・・・ハンターボックス。」

フォックス「何かハンターってボックスの中に入っても結構威圧感あるな・・・」

平沢「とりあえず、封印するよ。あと30秒しかないし。」

フォックス「30秒!?結構ギリギリだったんだな・・・」

2人「せーの!!」 ガシャン!!

ハンターボックス封印成功。 残り2つ

そして、2人がハンターボックスを封印し終えたときにミッション1の終了時間が・・・

プシューー！！

「ハンター×2」！！！！」

封印できなかった2体のハンターが、エリアに解放された・・・

ピリリリリ・・・

銃王「ミッション1結果」

上条「マリオ、ファルコン、平沢唯、フォックスにより、2つのハンターボックスが封印。」

マリオ「しかし、2つの封印に失敗し、ハンターは合計5体となった。

結局2つ止まりか・・・」

フォックス「うわぁ・・・5体か・・・」

ワグナー「移動には気を付けないと・・・」

ミッション1で2体のハンターが放たれた逃走中。

果たして、逃走者たちは逃げ切れるか!?

次回に続く。

MISSION 1 PART 2 (後書き)

明日から名古屋に行つてきます〜!!

巨人&広島6連戦をナゴドに見に行くのです!

増えたハンターの恐ろしさ(前書き)

名古屋からの投稿です!!!

増えたハンターの恐ろしさ

ミッション1終了後、エリア内にハンターが2体放たれて合計5体となった。

パルポン「うわ〜・・・3体だと楽に感じるけど、5体だと全然厳しいな〜・・・」

マリオ「全然ミッション出来てないじゃん皆何やってるんだよ・・・」

コナン「う〜ん・・・これじゃあ移動も楽には出来ないな・・・」

逃走者も、より警戒を強める。

ハンター×5「・・・」

しかしハンターに見つかると、逃げ切るのは容易ではない。

ハンター「！！！！」

西京「うわっ！！気づかれた！！」

ダダダダダ・・・

ハンター「……」

西京「……行ったかな？危なかった……」

ハンターを上手く振り切ることが出来ればいいが、できなければ牢獄行きとなる……

西京「……肉体的疲労は全然回復出来るけど、精神的疲労がヤバい……」

そして、逃走中において大事なのがメンタル面。

集中力が切れれば、ハンターに見つかってもすぐに気が付かない場合がある。

ルーク「あゝ・・・もう嫌だゝ・・・ハンター来るなよゝ・・・」

しかし、その一方でルークは集中力が切れていた・・・

ルーク「いつそ自首にでも動こうか・・・」

ゲームが始まってから10分で自首に動き出したルーク。
無事に自首できるのか？

~~~~~

ハンター「!!!」

その頃、1人のハンターがとある逃走者を見つけた……

希羅「ん……あのサングラスはハンター!!!」

希羅だ……

希羅「序盤に捕まってたまるかよー!!」

全速力で動物の檻などを使い逃げていく。

ハンター「・・・」

そして、ハンターを振り切った・・・

希羅「ハア・・・ハア・・・何とか逃げ切れたみたいだ・・・」

ハンターを振り切り、新しい隠れ場所を探す希羅。

ハンター「！！！！」

しかし、逃げた先に別のハンター・・・

希羅「ちよつと待って！！またハンター！」

また別のハンターに見つかり、逃げる希羅。

希羅「ゼエ・・・ゼエ・・・しんどい・・・」

しかし、さっき逃げた時の体力の消耗が激しくて先程ほどの速さが出していない・・・

希羅「ゼエ・・・ゼエ・・・無理・・・」

ポン！ 希羅確保 残り27人

希羅「・・・酸素ください・・・」

ハンター2体に追いかかれ、ここであえなく確保・・・

ピリリリリリ・・・

スリーナ「あ・・・確保情報。」

鶴久保「希羅確保！あいつ捕まった・・・」

西京「まだ10分ちよいで2人しか捕まってないんだ・・・」

まだ12分で捕まった逃走者は2人。

6分に1人ペースだが、  
増えた2体のハンターの恐怖を逃走者は実感することになる・・・

~~~~~

月村の部屋

月村「さて・・・ハンター増加関連のミッションのメンテナンスは
バッチリだな・・・」

システムの正常に胸をなでおろす月村。

月村「さてと・・・次はこのミッションが正常に作動するかチェック
するか。」

ピッ！！ピッ！！

月村は、とあるパネルを押しした・・・

月村「さて、腹も減ったし飯にするか・・・」

そして、月村は食べ物を取りに部屋を出て行った・・・

~~~~~

次回、  
5体のハンターから逃げるだけでも大変な逃走者に、更なる恐怖!!

次回に続く。

増えたハンターの恐ろしさ(後書き)

しばらくは名古屋からの更新です！

MISSION 2 PART 1 (前書き)

え〜・・・結構遅れました・・・

## MISSION 2 PART 1

ピリリリリリ……

サムス「メール……ミッション2ね……」

平沢「君たちの携帯電話に強制失格システムを導入した。」

ワグナー「これより、残り時間55分になると

全員強制失格となる。ちよつと待って!!」

ゆうやん「強制失格を免れるには、自分以外の逃走者以外を写真に撮り

本部に送信しなければならない。」

コナン「うわぁ……ハンターに気を付けるだけでも忙しいのに……」

MISSION2(逃走者を撮影せよ)

逃走者たちの携帯電話に「強制失格システム」が導入された。ゲーム残り時間が55分になると、このシステムが作動して強制失格となる。

強制失格を逃れるには、自分以外の逃走者を撮影して本部に送信するしかない。

ルイージ「なるほど……この5体のハンターの中で他の逃走者と出会えか……」

銃王「面倒なミッションだな……ハンターに出会わなかったらいが……」

サムス「誰か近くにいないかしら。なるべく動きたくないわね……」

フォックス「良かった……このミッションは7、8分あるから精神的に楽だ……」

このミッションは時間が楽だが、ハンターが存在がミッションの妨げとなる。

ドンキー「よし。誰か探しに行こう。」

誰かを探しに移動するドンキー。

ドンキー「お、人影……！！！！ハンター！！！」

ハンター「……」

しかし、前方からハンター……

ドンキー「ロクに動けねえ……ハンター怖え……」

東京ドーム4個分程度の大きさに5体のハンター。

ハンターに会う確率も高い。

マリオ「今度こそルイージはミッションしてくれるだろ……」

ミッション1で断られ、弟に再度電話するマリオ。

ピリリリリリリ・・・

ルイージ「電話・・・兄さんか。」

ピッ!!

ハンター「????」

しかし、1体のハンターがルイージの鳴っていた携帯電話に気が付いた。

ルイージ「もしもし。兄さん、ミッション見た？」

ルイージは、その事に気が付いていない。

マリオ(？)「おお、ルイージ、今どこにいる？」

ルイージ「え〜っと・・・まだ移動してないよ。カバの檻の前。」

マリオ(？)「そうか・・・俺は移動してだいぶそっちに近づいたから」

そっちに行くわ。」

ルイージ「うん。分かった。」

ハンター「!!!!!!」

しかし、携帯の音を聞かれたハンターに見つかった……

ルイージ「じゃあ、兄さんよろしく頼……うおおお!!」

ピッ!

ルイージも、ハンターに気が付いた。

マリオ「ルイージ、どうした!? ルイージ! 応答せよ! 応答せよ!」  
ツーツー……

電話を切られたマリオは怒っていた……

マリオ「終盤の＜応答せよ＞は要らなかつたかな・・・」

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

ルイージ「うおおお！！ハンター速い！！」

その頃、ルイージはハンターに追いかけていた・・・

ルイージ「速い！速すぎ！！」

ハンター「!!!!」

しかし、電話をしていたため気が付くのに遅れたルイージ。

ハンターとの距離は少なく、その差もなくなっていく・・・

ポン！ ルイージ確保 残り26人

ルイージ「はぁ・・・最悪・・・全然逃げてないよ・・・」

マリオブラザーズの弟、ここで確保・・・

ピリリリリリリ……

リンク「確保情報。」

鶴久保「ルイージ確保。残り26人か……」

マリオ「あいつ……ハンターに追いかけていたのか……」

誘おつとしていたルイージが捕まり、途方に暮れるマリオ。

「……?」お、マリオじゃん!」

そのマリオの後ろから声が・・・

マリオ「ん？誰・・・お！ドンキー！..！」

ドンキー「よお！マリオこっち向いて・・・」「パシヤッ！..！」

ドンキー「サンキュー！..よし！..ミッションクリア！..！」

マリオ「じゃあ俺も撮らせてもらっぜ・・・」「パシヤッ！..！」

マリオ「これを送信すればいいのか・・・」「..！」

ドンキー・マリオ ミッションクリア

ワグナー「ん？・・・あの人影は・・・ドンキーか。写真撮らせてもらおう！」

更に、そこにワグナーさんも合流。

ワグナー「ドンキー！ちょっと写真撮らせて。」

ドンキー「別にかまわんが・・・」

パシャッ!!

ワーグナー「うん・・・ちょっとピンボケだけども少いいか・・・
ありがとう!」

ワーグナー ミッションクリア。

現在、ミッションをクリアしたのはわずかに3人。

果たして、他の逃走者はミッションクリアできるのか!?

次回に続く。

MISSION 2 PART 1 (後書き)

チエンがあとアウト5個で完全試合だった・・・惜しかった・・・

MISSION 2 PART 2 (前書き)

更新遅れた・・・とりあえず挽回です。

MISSION 2 PART 2

現在、逃走者の写真を撮影しミッションをクリアしたのは3人。
ミッションの残り時間は5分。
果たして、間に合うのか!?

~~~~~

コナン「クツ・・・また厄介なミッションを出しやがって・・・」

ハンター「!?!?!」

コナン「ハンター近くにいてなかなか動けねえよ・・・」

ミッションをクリアしていないコナン。  
しかし、彼の目線の先にはハンター……

コナン「これって……相手の同意なくともいいから盗撮的な感じ  
でいいのか？」

カメラマン「まあ、他人がいる限り罪にはなりにくいですよ。」

コナン「そうか。隠れて写真を撮るのは探偵には必要不可欠で結構  
得意だからな……」

隠れてハンターをやり過ごすコナン。

果たして、写真を撮れるのか？

~~~~~

フォックス「写真ね・・・さっきミッションやった平沢ってヤツに電話してみるか・・・」

ピリリリリ・・・

平沢「あ、さっきのFOXからだ。」

ピッ！

平沢（？） 「さっきはどうも！FOX！」

フォックス（？） 「またややこしい言い方するな・・・」

平沢（？） 「それよりもさ、写真撮った？写真！」

フォックス（？） 「お、お前も撮ってないのか？」

平沢（？） 「だって誰もいないもん。」

フォックス(？)「じゃあ、さっきのハンターボックス前にもう一回集まるつぜ。」

平沢(？)「OK！捕まらないようにね！FOX！」

ピッー！

フォックス「さて・・・とりあえずさっきの

ハンターボックスまで逆戻りしますか。」

平沢「さて、ミッションしに行くか！」

ミッション1を成功した2人は、無事にミッション2もクリアできるか！？

~~~~~  
~~~~~

上条「さて・・・マリオにドンキーにワグナーさんに電話かけたけど、

3人ともクリアしていたよ・・・」

上条「もうほぼ全員ミッションクリアしてるんじゃないの？」

3人中3人がクリアしてるって・・・会いに行くにしても場所が遠いし・・・

不幸だ・・・」

一方、まだ3人しかクリアしていないミッションで、電話した相手3人が

ミッションをクリアしていた上条当麻・・・

上条「バッテリー1コ減ってるし・・・」

問題は無いけど、結構充電切れるんじゃないかって心配になる・・・」

不幸ばかり起こる彼の身に・・・

ハンター「！！！！」

ハンターがやってきた・・・

上条「誰か・・・ってこんな時にハンターかい！
どこまで不幸なんだよ！」

ハンターに気が付き、逃げる上条。

幸いにもハンターとの距離があり、一発確保のようなことはなかった。

上条「こんなところで捕まってたまるかよ!」

距離を使い、植物園の茂みを利用して逃げる上条。

そして、彼の近くに・・・

吉井「あ・・・誰かハンターに追いかけてるわ。

気の毒だけど、ミッションのために写真撮らせてもらおう。」

近くの茂みの中に身を隠す吉井明久……

パシヤッ！

吉井「よし。ズームしたからいいように取れる。
写真からしてこれは上条だな。サンキュー。」

吉井明久 ミッションクリア

上条「ハンターって合つとあんなに緊張するもんなんだ……」

ハンター「……」

その頃、上条はなんとかハンターを振り切った……

ハンター「!!!!」

しかし、上条を追ったハンターが新たな獲物を発見……

カービィ「写真……」

カービィだ。

カービィ「うわっ！ハンターいた！」

少したつてハンターに気が付くカービィ。

ハンター「！！！！」

しかし、見つけた時にはハンターとの距離はほぼなかった……

ポン！ カービィ確保 残り25人

カービィ「あゝあ……中途半端な時に捕まっちゃったな……」

スマブラメンバーも3人目が確保・・・

ピリリリリ・・・

吉井「確保情報。カービィ確保。ヤバッ！さっきここらへん通ってた・・・」

上条「マジか・・・めちゃくちゃ近い・・・」

マリオ「ネス、ルイージに続いて3人目か・・・」

~~~~~

ルフィ「あ・・・近くにも遠くにも誰もいないよ・・・」

その頃、他の逃走者を探すためにエリアを歩いているルフィ。

ルフィ「遠くでも手があから楽勝なのにな・・・残念だ。」

リンク「ん？あの麦わら帽子・・・」

そして、ルフィの向かう先にリンク・・・

ルフィ「お！誰かいたぞ、誰かいた！」

リンク「あの・・・写真撮ってもいいかな？」

ルフィ「ああ。その代わり俺も撮らしてくれ。」

カシヤツ×2

リンク ルフィ ミッションクリア

リンク「ありがとうございます。あと残り時間3分なんで焦ってましたよ。」

ルフィ「へ？もう後3分？」

リンク「そうですね。あとカップラーメン10分で写真撮れてなかったら失格でした。」

ルフィ「……だとしたら結構時間あるんじゃない？」

リンク「うん・・・個人差じゃないですか？」

ルフィ「ま、そう考えるのが妥当か。」

リンク「では。頑張ってくださいね！」

ルフィ「そっちな！」

旅路は違えど、2人の冒険者はミッションを終えた・・・



御坂「そろそろミッション行かないとヤバイわね・・・」

その頃、御坂美琴もミッションに動きだしていた。

御坂「誰かが通りすがってくれることを期待したけど・・・誰も動いてなかったわね。」

ミッションに向かう御坂。

御坂「さて・・・ん？あれは・・・」

しかし、御坂の目に入ってきたのはとんでもない物だった・・・

果たして、御坂の見たものは何だったのか・・・

次回に続く。

## MISSION 2 PART 2 (後書き)

どうでもいい話ですが、PSPのメモリ残量がヤバイ・・・

MISSION 2 PART 3 (前書き)

全然更新が速くならない (汗)

## MISSION 2 PART 3

ミッションに向かう御坂が見たものは・・・

御坂「・・・何じゃありゃ？」

-----

ikkii「いや、牢獄の皆さんお疲れなのです。」

ネス（牢）「ikkiiは楽でいいね。今のところアナウンスだけであとはそこら辺

ウロウロ動物見ながら、パトロールしとけばいいんだから。」

ikk i「そうなんだよ。ヒマなんだ〜・・・あ、ハンター。」

ハンター「・・・」

ikk i「たちのいる牢獄に近づくハンター。」

ikk i「そういえばハンターってサングラス取ったらどんな顔立ち  
なんだろうか・・・」

カービィ（牢）「さあ・・・」

ルイージ（牢）「意外とカッコよかったり。」

ikk i「というわけで・・・サングラス拝借!!」

パシッ！！

ハンター「……」

ikkii&牢獄の人たち「……」

パシッ！！ サングラスをもとに戻す音

ikkii「お疲れ様です！！」ピシッ！！

牢獄のメンバー「お疲れ様です！」ピシッ！

ハンター「……」

ikk i & 牢獄のメンバー「……」

ikk i「我々はアカンものを見てしまった……」

希羅（牢）「……同感だ……」

ネス（牢）「このことは忘れよう……」

ikk i「よし。さっきの出来事は無かったことだ。いいか？」

牢獄のメンバー「了解！」

ikkii「よし！俺は引き続きパトロールを続ける！  
もうフザけた事はしない！」

ネス（牢）「気を付けて！！」

-----

御坂「・・・ハンターの正体が・・・私も見なかったことに・・・」

一部始終を遠くで見ていた御坂美琴。

御坂「・・・ハッ！いけないいけない・・・ミッションしないと・・・」

見ていた全員が唾然となったハンターの顔とは・・・

その頃、ミッションをクリアしていない逃走者は……

銃王「さて……本格的に失格になりたくないから動くか……」

パルポン「時間がヤバイ……」

コナン「盗撮じゃムリだ。自分で動いて探そう。」

残り時間が少なくなり、焦る逃走者。

ハンター「……」

しかし、動けばハンターに見つかるリスクも高くなる……

上条「あ……あれは……」

スリーナ「あ！上条さん！」

上条「ミッションやった？」

スリーナ「まだです！急ぎましょうー！」

ミッションのために写真を撮ろうとする2人……

ハンター「!!!!」

しかし、彼らの目の前にハンター……

上条「うわ！最悪！」

スリーナ「ほとんど距離が無い……」

すぐに気が付くも、距離が少なく2人は圧倒的不利……

スリーナ「この差では2人とも逃げるのは不可能です。

私が、おとりになりますから逃げてください。」

上条「クツ・・・そんなことは出来ない・・・」

スリーナ「でも、このままでは2人とも捕まってしまうかもしれません。

私はいいですから貴方だけでも逃げてください。」

上条「・・・すまない・・・この恩は絶対忘れない・・・」

ダダダ・・・

スリーナさんの分の思いを受け取った上条は、  
今まで以上の速さで走り始めた。

スリーナ「……上条当麻……彼には頑張ってもらいたいものです。」

自分を身代わりにしてまで上条を逃がしたスリーナさん。

スリーナ「もう悔いは無いわ……」

そして、ハンターが接近していく……

ボン スリーナ確保 残り24人

「 スイーナ「あ！確かあの人もまだミッションやってなかったはず・・・」

ピリリリリ・・・

西京「また確保情報・・・」

藤龍「スイーナさん確保・・・残り24人か・・・」

パルポン「ついに作者さんもか・・・」

上条「あの人の分も頑張らないと・・・ん？

そっといえばミッション・・・写真撮ってない！不幸だ！」

ハンターに気づかれ、写真を撮ってなかった上条。

上条「不幸だ・・・」

落ち込む上条。

鶴久保「ん？あの髪型は・・・」

しかし、そこに鶴久保ゆーすけさんがやって来た。

鶴久保「あ、写真撮らせてくださいね。」　パシャッ！

上条「あ……俺も撮るところ。」　パシャッ！

鶴久保「すけ　上条当麻　ミッションクリア

鶴久保「希羅、捕まったからいい所見せないとな……」

上条「なんとかクリアした……山あり谷ありだ……」

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

フォックス「うん・・・時間ヤバイけどちゃんと時間内に来るかな？・・・」

フォックスは、平沢唯との待ち合わせ場所に来ていた。

平沢「あゝ！いたいた！来るの早いね〜！」

フォックスの到着して数分後、平沢到着。

フォックス「ミッション間に合うか心配だったわ・・・」
カシヤツ！

平沢「結果オーライでいいんじゃないの？」
カシヤツ！

フォックス、平沢唯 ミッションクリア

フォックス「これで一安心だ……」

平沢「シッ！……誰がいる。」

しかし、2人に近づく影……

藤龍「悪いけど写真撮らせて……ゼヘ……ゼヘ……」

ミッションをクリアしていない藤龍さんだ。

フォックス「ああ。」

平沢「時間ももう少ししかないね・・・」

藤龍「これで強制失格にならなくて済む・・・」 カシヤツ！

藤龍 ミッションクリア。

フォックス「さて・・・あとミッションの時間は3分だ・・・」

藤龍「カップラーメンの時間か・・・」

平沢「私はラーメンより焼きそば派だけどね・・・」

ミッション残り時間は3分。

この時点で、ミッションをクリアしているのは

マリオ、ドンキー、リンク、フォックス、吉井明久
上条当麻、平沢唯、ルフィ、ワーグナーさん、鶴久保ゆうすけさん、
藤龍さん

の11人。

逆に、ミッションをクリアしていないのは13人。

「パルポン」もう3分しかない・・・危険は伴うけど行くしかないか・・・」

ヨッシー「ここまで誰にも会わないとは……自ら探しに行くしかないですね。」

プリン「強制失格の終わり方なんてイヤだ……」

移動せず、誰かが来るのを待っていた全員がミッションをクリアするため動き出した。

ヨッシー「移動するにしても、ハンターがいたら凄く困るな……」

強制失格を避け、隠れていたが他の逃走者を探す事にしたヨッシー。

ヨッシー「ドンキーあたりが近くにいれば、写真も撮れるし

ハンターが来たとしても無事に逃げれるのにな……」

警戒心の薄れてきたヨッシー。

ヨッシー「もしかして皆もうミッションクリアして隠れた・・・」

ハンター「!!!!」

しかし、ハンターと鉢合わせ。

ポン！ ヨッシー確保 残り23人

ヨッシー「・・・ええ・・・終わったのか・・・」

油断していたヨッシー。瞬殺だった。

ピリリリリリ……

翡翠煉「確保情報……今度はヨッシーか……」

コナン「うわ……近くだ。写真撮っとけばよかった……」

ドンキー「またスマブラメンバーか……」

なかなか期待の高かったヨッシーが確保され、残るは23人になった……

ゆうちゃん「うわっ！めっちゃ近くでヨッシー捕まってる！
とりあえず写真より移動しないと・・・」

ヨッシーが付近で確保され、その場から離れるゆうちゃんさん。

ゆうちゃん「時間は無いけどハンターに捕まったら
意味ないから・・・」

逃げるゆうちゃんさん。

ゆうちゃん「ん？あれは・・・」

コナン「あ、ゆうちゃんさん。ミッションやった？」

ゆうちゃんさんの逃げた先にコナン・・・

ゆうちゃん「あ、まだだから、ちょっと撮らせてね。」 カシャッ！

コナン「僕もまだだから撮るね。」 カシャッ！

ゆうちゃん コナン ミッションクリア

ゆうちゃん「ありがとね。それと、おつきそこでヨッシー捕まったから
離れたほうがいいよ。」

「コナン」へ……じゃあ離れたほうがいいや。」

・ ミッションをクリアした2人は、ヨッシーの確保地点から離れた・

ルーク「チクショウ……あと3分も無いのに自首できるかな……」

2人がミッションをクリアしていた頃、
ルークは自首をするためのテレホンカードを持つikkkiを探していた……

パルポン「お！ルークだ！」

しかし、見つけたのはi k k iではなくパルポンさん・・・

ルーク「お！ミッションだからちょっと写真を撮らせてくれよ！」
カシャツ！

パルポン「俺も撮ってないからよろしく。」 カシャツ！

ルーク パルポン ミッションクリア

パルポン「サンキュー！助かった・・・」

ルーク「同感だぜ。時間ヤバイし。」

ミッションを終え、安心する2人。

パルポン「じゃあね。俺は元々いた場所に戻るよ。」

ルーク「じゃあな！気を付けるんだぞ！」

そして、パルポンさんは元々いた場所に戻っていった・・・

ルーク「さて、俺は早くikkikiを見つけてテレホンカードを貰わないと・・・」

ミッションをクリアしても、自首をする気のルーク。

ルーク「i k k i っでどこにいるんだよ・・・どこにもいねえ・・・
ってかハンター来てるし！」

ハンター「!!!!」

しかし、見つけたのはi k k iではなくハンター・・・

ルーク「あゝ・・・もついいや。」

ハンターに見つかり、逃げるのを諦めるルーク。

ポン！ ルーク確保 残り22人

ルーク「自首しようとした天罰か・・・」

自首をするためにikkikiを探すのも、リスクが高い・・・

ピリリリリリ・・・

西京「確保情報か・・・皆焦ってるんだな・・・」

リンク「捕まるスピードがハンパじゃない……」

パルポン「うわっ！さっき一緒にいたのに捕まった……」

マリオ「あと22人か……テンポ速いな……」

ハイペースで確保されていく逃走者たち。

果たして、逃げ切れるのものは現れるのか！？

ミッションクリア者 14人

ミッション未クリア者 8人

ファルコン、プリン、ピカチュウ、サムス
御坂美琴、西京圭、カイ・R・銃王、翡翠煉

果たして、まだクリアしていない8人は間に合うのか!?

次回に続く。

MISSION 2 PART 3 (後書き)

ikki & 牢獄メンバー & 御坂美琴が見た

ハンターの素顔 (サングラス取った姿)

は、ご想像にお任せします。

MISSION 2 PART 4 (前書き)

夏休みは終わったのです・・・

MISSION 2 PART 4

現在ミッション2をクリアしていないのは8人。

残り時間は3分弱とわずかだが、全員がクリアできるのか!?

西京「こりゃあマズいな・・・皆もうミッションクリアしてるから隠れてるのかな・・・」

逃走成功候補2位ながら、未だミッションをクリアしていない西京。

西京「ここは信頼してる人に頼むしかないか・・・」

ピリリリリリ・・・

銃王「電話・・・西京からか。」 ピッ！

西京(？)「よっ、銃王。」

銃王(？)「お前か・・・頑張ってるか？」

西京(？)「ああ。ミッションだけが問題だけど。」

銃王(？)「・・・言葉から察するにミッションやってないんだな。」

西京（？）「ああ。今どこだ？これから向かいたいんだが。」

銃王（？）「えっと・・・植物園の駐車場の近くだな・・・」

西京（？）「駐車場・・・よし。今からそっちに向かうわ。」

銃王（？）「遅れるなよ。」

西京（？）「そっちこそ捕まらないでくれよ。」ピッ！！

銃王「あ・・・切れた・・・まあ、俺もミッションやってないし
アイツが来てくれる事に期待するしかないか・・・」

西京「さて・・・急げば不可能な距離じゃないな・・・
ちっちとミッション終わらせよう。」

カイ・R・銃王さんの所に向かう西京ま。果たして間に合うのか!?

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

ファルコン「時間が……一刻も早くクリアしねえと……」

逃走成功候補でこちらも上位ながら、ミッションをクリアしていないファルコン。

ファルコン「移動すれば目立つけどハンターに見つかるかもしれないから……」

ハンターを気にしてあまり動けないファルコン。

そんな彼に近づくと黒い影……

翡翠「あーいたー！写真写真！ー！」

こちらはまだミッションをクリアしていない翡翠煉さんだ……

翡翠「いやぁ……目立つ格好で助かった……」 カシャッ！

ファルコン「この服装のおかげでミッションをクリアできるとはな……」 カシャッ！

翡翠煉    ファルコン                    ミッションクリア

翡翠「間に合った・・・命拾いしたよ・・・」

ファルコン「ミッションも残酷だな・・・」

ハンター「!!!」

しかし、色が目立ったせいかなンターに見つかった・・・

ファルコン「何かハンター来たぞ！」

翡翠「え〜！こんな時にかい・・・」

ハンターに気が付き、逃げる2人。

ハンター「！！！」

ハンターが視界に捉えたのは・・・

ファルコン「クソッ！俺かい！」

ファルコンだ。

ファルコン「もしかしてこの服か！この色が派手だからか？」

翡翠「はぁ・・・はぁ・・・ハンター、ファルコンの方に行った・・・」

171

違うルートで逃げた翡翠さんは助かった・・・

ピカチュウ「翡翠さんどうしたの！？息が荒いよ！？」

そして逃げた先にピカチュウ・・・

翡翠「ハハハ・・・ハンターに追いかけられたただけだよ・・・」

ピカチュウ「そうなんだ・・・」 カシヤツ！

まだミッションをクリアしてなかったピカチュウは、写真を撮る。

ピカチュウ ミッションクリア

ファルコン「ハンター速ええ!!！」

ハンター「!!!」

そして、ピカチュウがミッションをクリアしていた時も  
ファルコンは追いかけていた・・・

ファルコン「チクシヨウ・・・」

曲がり角を使い逃げるファルコン。

ファルコン「ハンターしぶといな！」

プリン「何があったプリ？」

何度目かの曲がり角をまがったとき、プリンに遭遇。

ファルコン「プリン！ハンター来てる！」

プリン「え？キヤーー！！！」

ハンター「！！！！！」

プリンもハンターの巻き添えに・・・

ファルコン「ハンターめ・・・まだ追いかけてくる・・・」

プリン「プリ・・・」

ハンターが追跡しているのは・・・

プリン「こっち来てる！何で？」

プリンだ。

プリン「うわぁー!!ファルコンの鬼〜!!」

ファルコンを追跡していたハンターが、プリンに接近する・・・

ポン！ プリン確保 残り21人

プリン「ファルコンひどすぎるよー!!」

ファルコンの代わりに捕まってしまったプリン・・・

ピリリリリリリ・・・

吉井「確保情報。プリン確保」

リンク「残りもう21人か・・・」

ピカチュウ「プリン・・・捕まっちゃったか・・・」

ファルコン「プリン・・・すまない・・・」

~~~~~

西京「さて……駐車場の近くに着いたわけだが……」

一方、銃王さんの待つ駐車場の近くにやってきた西京。

銃王「お……西京来た！ おゝい！」

西京「そこか！写真撮ろう！」 カシャッ！！

銃王「間に合った……ヒヤヒヤしたよ……」 カシャッ！

西京圭 カイ・R・銃王 ミッションクリア

西京「というわけで俺は自分の隠れ場所に帰るわ。」

銃王「意外とあっさりだな。」

西京「じゃあな。終盤まで頑張ろつぜ。」

銃王「こっちのセリフだな。」

~~~~~

ミッション残り時間が1分半を切り、

クリアしてないのは、サムスと御坂美琴の2人となった。

サムス「さて・・・そろそろ本気で強制失格を阻止しないと・・・」

御坂「全く・・・人に全然会わないってどういう事やら・・・」

他の逃走者を見つげられず、焦る2人。

???「よし！次行こう！」

サムス「ん？人の声・・・」

サムスが、誰かの声を聞いた。

ikkii「よし！ホームラン賞！」

スリーナ（牢）「パトロール係なのに園内のバッティングセンターで遊ぶなんて・・・」

ルーク（牢）「コイツをスタッフにしたヤツの人選ミスだな・・・」

ネス（牢）「バッティングは上半身だけじゃ飛ばないぞ！フォームを変えろ！」

ルイージ（牢）「ネスはコーチ気取りだし・・・」

サムス「・・・あいつか・・・苦肉の策か・・・」

逃走者ではないikkikiに近づくサムス。

サムス「ikkikiよ、自首用のテレホンカードを貰いたいのだが・・・」

ikkii「あゝ・・・今無いかからこの10円使って。」ヒョイ!

サムス「ありがとね。」

サムス「幸運にも公衆電話はバッテリーングセンターの隣・・・ついでるわ。」

ブルルルル・・・ガチャツ!

サムス「すいません。私サムス、自首します。」

サムス 自首成功 賞金29万3600円獲得。

プシューー!!

そして、ハンター1体がエリアに放たれた・・・

サムス「自首も最悪あり・・・それがバウンディハンター。」

満面の笑みを浮かべるサムス。

サムス「さすがにミッションまだクリアしてない人なんていないでしょ・・・」

いたら笑っちゃうわ。」

御坂「ハックシュン！ だれかまだクリアしてない私の事笑ったわね・・・」

まだ1人クリアしていない逃走者・・・

ハックシュン！

上条「・・・あいつのクシャミが聞こえる・・・近くにいるのか・・・」

ドンキー「・・・ジャングルであんなクシャミが聞こえたらビビるな・・・」

現在、御坂の近くには上条、ドンキーの2人。

果たして、御坂は強制失格を免れるのか！？

次回に続く。

MISSION 2 PART 4 (後書き)

バッティングマシンといえば、

余談

1年ほど前・・・

バッティングセンターでライナー打ったときに

マシンの球が出る場所に打球がスッポリ入って

機械から球が出なくなったときは焦ったな・・・

友達も苦笑いでコッソリ帰ったときは大変だった・・・

MISSION 2 PART 5 & 月村のミス（前書き）

夏休み中に終わらなかったか・・・

とりあえずオールスターを片づけるまで大逃走には戻りません。

MISSION 2 PART 5 & 月村のミス

ミッション終了まで1分を切り、クリアしていないのは御坂美琴1人。

果たして彼女はミッションをクリアできるのか!?

御坂「もう時間的にハンター見つかるの覚悟でダッシュするしかないわね。」

窮地に立たされた御坂。最後の手段の賭けに出た。

御坂「この近くに誰かいて……お願い……」

ダッシュで他の逃走者を探す御坂。

ドンキー「ん？御坂か……」

その近くにドンキー……

ダダダダ……

ドンキー「全力疾走って……まさかハンターでも来てるのか!？」

しかし、ドンキーは意味を間違え、その場を離れてしまった。

ドンキー「ハア……巻き添えになったらかなわん……」

ダッシュの意味を間違って捉えたドンキー。走り損だ。

御坂「30秒切った……誰か!」

大声で呼ぶ御坂。

上条「！！！！今、御坂の声が聞こえたような・・・」

ピカチュウ「知り合い？」

上条「ああ。俺の仲間だ。お前も一応アイツの仲間だから一緒に  
行ってみるか。」

ピカチュウ「????仲間にしたっけ？」

~~~~~

上条「御坂！大きい声でどうしたんだ!？」

ピカチュウ「声デカイよ!」

御坂「ん？あ！！ピカチュウにアンタは！」

ピカチュウ「アニメでも僕の知名度は高いですね」

上条「お前こそどうしたんだ？・・・まさかとは思っがまだ
ミッションクリアしてないとか・・・」

御坂「・・・」

上条「凶星だな。」

御坂「うるさい！時間内から早く撮らせて！」

上条「ハイハイ。ピカチュウよ、お前も写真に映るぞ。」

ピカチュウ「頭の上に乗っかるね。」ヒョイ！

御坂「フゝ・・・本当に危なかったわ。」カシャッ！

御坂美琴 ミッションクリア

MISSION 2 全員クリア

御坂「ありがとうね。ピカチュウ。さすが私と同じ
電気使いだけあるわ。」

ピカチュウ「・・・これがさっきの仲間って事か・・・」

ピリリリリ……

ドンキー「ミッション2終了。」

ゆうやん「全員がミッション成功。一安心か……」

リンク「えっと……自首情報もあるぞ。」

上条「サムス自首成功。……金か……」

御坂「それによりハンター1体放出。その数は6体!？」

ピカチユウ「さすが金目当て……」

~~~~~  
月村の部屋

月村「ミッション2が終わるところまで終わったか・・・」プシュッ!

月村「逃走中を見ながらのコーラは最高だ~~~~!!」

ピッ!!

~~~~~  
新着データ

サムス自首 賞金として29万3600円の出費

月村「は！？自首だと！？ハンター1体の裏切り行為で
まだするヤツいるのか！？」

サムスの自首情報を知り、愕然とする月村。

月村「今回の賞金用の資金は1人逃走成功と同じ96万・・・
これで1人逃げ切ったら30万そこそこの出費じゃないか！
？」

資金の少ないメンテナンスの逃走中。
このまま1人でも逃げ切れれば予算オーバーのため、焦る月村。

月村「次のミッションでコテンパンに・・・」コン！バシャアア！
！！

月村「ん？・・・あ・・・」ゾクゾクブルブル・・・

月村が震えたわけ・・・それは

月村「ヤベエ！！コーラこぼした！」

そう。ミッション2を発動させた直後に食事をした月村は、残ったコーラを部屋に持ってきていたのだ。

月村「クソッ！この機械は水に弱い・・・」

ジュジュッ！ジュジュッ！

機械「内部装置が破損しました、内部装置が破損しました・・・」

月村「厄介なことになったぞ・・・」

機械「制御不能、制御不能、セイギヨ・・・」ボムッ！！

月村「だああ！機械が暴走し始めた！

ヤバイぞ・・・」

幹部「どうした！かなり機械がヤバイらしいな！」

月村「・・・50分あればなんとか修理できる・・・ただ、今機械を強制終了したら

逃走者たちは永遠にエリアに閉じ込められることになる・・・

」

月村「ミッションなどの情報は自動操縦になっている・・・
ミッションや確保情報はなんとか伝わるだろう・・・
しかも幸運なことにカメラマンからの情報はちゃんと
モニターに映っている・・・」

月村「機械を作動させたまま修理するしかないか・・・
頼むから暴走しないでくれよ・・・」

修理を始める月村。

果たして、安全に逃走中は終われるのか!?

~~~~~

機械内

機械「ミッション時間になりました。ミッション発生・・・」

ミッションの時間になり、ミッションを発動させる機械。

プシューー!!

しかし、故障のせいかミッションレベルの数值が1から2に上がっていた・・・

次回、衝撃のミッション3発動!!

次回に続く。

MISSION 2 PART 5 & 月村のミス (後書き)

最近金曜日がヒマすぎる...

MISSION 3 PART 1 (前書き)

更新が遅れた・・・

## MISSION 3 PART 1

ピリリリリリ・・・

コナン「メール・・・ミッション3・・・」

吉井「現在、植物園エリア内の植物が危険物質を吹き出し始めた。何があつた？」

パルポン「残り30分になると植物園エリア内に危険物質が充満されて

強制失格となる・・・ヤバイな。」

ファルコン「だが、植物園エリア内にある15個の宝箱の中に入っている

薬を飲めば30分以降も植物園エリア内を逃走可能。

へえ・・・。」

平沢「しかし1つの宝箱の中に薬は1つ。早い者勝ちだ。なんか怖いな・・・。」

〕〕MISSION 3<植物園エリア内の危機>〕〕

植物園エリア内の植物が危険物質を吹き出し始めた。  
のこり30分になると植物園エリア内に危険物質が充満し  
エリアにいた場合強制失格になる。

ただし植物園エリア内にある15個の宝箱の中にある薬を飲めば、  
残り30分以降も植物園エリア内を通行可能。

リンク「つまりは・・・残り30分までに植物園エリアの中にある  
薬を飲まないと

30分以降は動物園エリアしか逃げられないって事か・・・

」

鶴久保「あと残り20人だから・・・最低でも今のメンバーが全員  
生き残ったら

5人分足りないのか・・・」

現在の逃走者は20人。

最悪、5人が植物園エリアに入れなくなる。

~~~~~

ゆうちゃん「ここは・・・植物園エリアか・・・」

コナン「早いところ見つけたほうがいいね。
どんどん宝箱減っていくし。」

ミッション2の時から一緒にいた2人。

ゆうちゃん「宝箱・・・宝箱・・・」

コナン「見つからないもんだね。」

宝箱を探す2人・・・

ゆうちゃん「お！宝箱！」

コナン「やっと1個だね。」

ゆうちゃん「さて・・・コナン君飲んでもいいよ。」

コナン「・・・いや。ゆうちゃんさんの分も見つけてから飲むよ。」

ゆうちゃん「そう・・・今飲んでもいいのにね。」

コナン「一応僕も、高校せ・・・小学生だからね！」

ゆうちゃん「そう。ならいいけど。」

コナン「うん！早くあと1つ探そう！」



上条「おいピカチュウよ。」

ピカチュウ「何？」

上条「ここ植物園エリアだし宝箱探しに俺は行くんだが……」

ピカチュウ「へえへえ。」

上条「そろそろ俺の頭から降りてくれないか？」

ピカチュウ「あゝ、分かった。チクチクして痛いし……」ヒョイ!

上条「というわけで……俺は探しに行くわ。」

ピカチュウ「別行動だ〜!」

上条「じゃあな。」

ピカチュウ「じゃあね〜！」

ピカチュウ「さて・・・宝箱を探さないと・・・」

上条と別れ、移動するピカチュウ。

ピカチュウ「それにしてもあの上条って人の髪の毛チクチクして痛かったな〜。」

ピカチュウ「ん〜・・・宝箱って普通に道端に落ちてるのかな・・・」

宝箱を探すピカチュウ・・・

銃王「あ、ピカチュウ！」

ピカチュウ「あ……銃王さん！」

近くにいた銃王さんと合流。

ピカチュウ「薬飲んだ？」

銃王「いや。意外と見つからないんだよ……」

合流し、一緒に行動する2人。

~~~~~

数分後

ピカチュウ「宝箱発見！」

銃王「1つ目！」

~~~~~

数分後

ピカチュウ「またも発見！」

銃王「テンポがいい！」

ピカチュウ「というわけで」ゴクッ！

銃王「ミッションクリアか！」ゴクッ！

ピカチュウ カイ・R・銃王 ミッションクリア

ピカチュウ「よし！」

銃王「これでしばらく落ち着けるな！」

喜ぶ2人。

上条「ん？ピカチュウ、まさかもつお前ミッション終わったのか？」

212

そこに、上条がやってきた。

ピカチュウ「あ、さっきの上条さん……もう終わりましたよ。」

上条「お前早っ！俺も急がねえと宝箱どんどん減っていく・・・」

タタタタタ・・・

銃王「行っちゃった・・・」

ピカチュウ「もし逆の立場だったらめっちゃ怖いな・・・」

上条の立場だったことを想定し、苦笑いを浮かべる2人。

ハンター「！！！！」

しかし、ハンターに見つかった・・・

タタタタ・・・

銃王「うわっ！ハンター来てるし！」

ピカチュウ「タイミング悪すぎ！」

ハンターにいち早く気が付き、逃げる2人。

果たして、逃げ切れるか！？

残り逃走者

マリオ、ドンキー、リンク、ピカチュウ、フォックス、ファルコン

翡翠煉、ワーグナー、パルポン、鶴久保ゆうすけ

ゆうやん、カイ・R・銃王、藤龍、西京圭

平沢唯、ルフィ、吉井明久、御坂美琴、上条当麻、コナン

残り20人

次回に続く。

MISSION 3 PART 1 (後書き)

しばらくとあるゲームに没頭するため

更新は遅れます。

MISSION 3 PART 2 (前書き)

更新が予告通り遅れました・・・

MISSION 3 PART 2

前回、ハンターに見つかったピカチュウと銃王さん。

ハンター「!!!」

ピカチュウ「うわー!!!」

銃王「結構近い!!!」

逃げる2人。

銃王「とりあえず1人だけは助かるように分かれるぞ！」

ピカチュウ「分かった！」

ルートを別々にして逃げる2人。

ハンター「……！！！」

ハンターが視界に捉えたのは……

銃王「……ごっちですかぁ……」

カイ・R・銃王さんだ。

ピカチュウ「・・・助かったけど悪い気もするな・・・」

別ルートで逃げたピカチュウは助かった・・・

銃王「ハンター速ッ!!」

ハンター「!!!」

ハンターに追いかけている銃王さん。

銃王「逃げたルートは一本道だし最悪だ……」

逃げた道は、障害物や曲がり角のない一本道。

直線勝負ではハンターに勝てるわけもなく……

ポン！ カイ・R・銃王確保 残り19人

銃王「はぁ……後は西京に望みを託すか……」

ピリリリ……

パルポン「確保情報。」

西京「銃王確保！アイツマジかよ……」

ワーグナー「残り19人……減ってきたな……」

ピカチュウ「あ……やっぱり銃王さん捕まった……」

気が重いな……」

自分の代わりに捕まった銃王さんに申し訳ないと思うピカチュウ。

ピカチュウ「それにしても緊張するな……」

怯えるピカチュウ……

ルフィ「どけどけ〜!!ピカチュウ邪魔だ〜!!」

ハンター「!!!」

ピカチュウ「あ、ルフィさん……ってハンター連れてきてる!」

しかし、ハンターに追いかけているルフィがやってきた。

ルフィ「お前も逃げろ!捕まるぞ!」

ピカチュウ「なんでハンター連れてくるかな……とりあえず隠れよう。」

ガサツ!!

ピカチュウはハンターの視界から逃れるため、近くの草むらに隠れた。

ハンター「!!!」

ルフィ「クツ!コイツ速えぞ!」

ピカチュウの近くに来る前に結構差が縮まっていたルフィ。

海賊の運動神経があるとはいえ、サイボーグのハンターには差を縮められるばかり・・・

ポン！ ルフィ確保 残り18人

ルフィ「だめだぁ・・・こんな早くに捕まるなんて・・・」

早期の確保に悔しむルフィ。

ピリリリリ・・・

ピカチュウ「うわっ！ハンターまだ近くににいるから鳴らないでよ！」

ルフィが捕まった近くに隠れたピカチュウ。

ピカチュウ「……やり過ぎたかな？」

電話の着信音があったものの、なんとか隠れきったピカチュウ。

ピカチュウ「さっきからピンチばかり……最悪だ……」

2度もハンターに会ったピカチュウ。

しかし、2回とも上手くハンターから逃れた。

一方、ピカチュウが着信音を聞かれた頃……

西京「確保情報・・・」

御坂「ルフィ確保。残り18人」

ドンキー「11人抜けたのか・・・」

ルフィが捕まったことを知る逃走者。

リンク「サムスが自首してハンター1体増えたから
また確保者がどんどん増えていく・・・」

現在、エリア内にハンターは6体。
挟み撃ちになってもおかしくない状況である。

藤龍「お！あれは宝箱じゃないのか？」

一方、ハンターに見つからずに宝箱に到着した藤龍さん。

藤龍「良かった・・・まだ薬は残ってる・・・」ゴクッ！

藤龍 ミッションクリア 宝箱残り11個

リンク「なんとか宝箱に到着です。」

スタッフ「結構息荒いですね。」

リンク「ここに来るまでにハンター何回か見ましたからね・・・
めっちゃ会う回数高いですし・・・」ゴクッ！

リンク ミッションクリア 宝箱残り10個

リンク「スマブラメンバーもう結構捕まってるんで

マリオとかフォックスにも頑張っほしいですね・・・」

ゆうちゃん「あ！宝箱2つ目あった！」

コナン「本当だ！中身もあるし、これでミッションクリアだね！」
ゴクッ！

ゆうちゃん「わざわざ2つ目が見つかるまで待ってくれてありがとうね。
」ゴクッ！

ゆうちゃん コナン ミッションクリア 宝箱残り9個

着実にミッションをクリアしていく逃走者。

次回、壊れたデータが暴れだす!?

次回に続く。

MISSION 3 PART 2 (後書き)

ちなみに、前回のあとがきで書いた

没頭中のゲームはポケモンのエメラルドです。

(最近暇になった元サッカー部メンバー全員でやりこんでます。)

MISSION 3 PART 3 (前書き)

ただ今更新が遅れております！

MISSION 3 PART 3

ピリリリリ・・・

植物園内で宝箱を探すメンバーの鳴り響く携帯音・・・

リンク「メールですね・・・ミッション3」!? 「

ミッション3の最中に発動したミッション3・・・

吉井「ミッション3で危険物質を吹いている植物がいるという情報を流した。」

リンク「しかし植物だけにとどまらず、危険物質を吐いている動物が動物園内に発見された。厄介なことになりそうだな・・・」

鶴久保「植物園と同じく残り30分になると、動物園内が危険物質で充満し

動物園エリアも逃走不可能になる。」

藤龍「そこで、動物園エリア内に10個の宝箱を設置した。」

ドンキー「植物園エリアと同じく、その中にある薬を飲めば30分以降も

動物園エリアを逃げられる。」

ワグナー「なお、植物園エリアと動物園の危険物質は違うので両方のエリアで逃げるには、動物園エリア&植物園エリア

の2つの薬を飲まなければならない。・・・また忙しいぞ・・・」

植物園エリアと同じく、動物園エリアにも危険物質を吹き出す生物が現れた。

残り30分に植物園エリアと同じく、危険物質が動物園エリアにも
充滿し
逃走不可能になる。

しかし植物園エリアと同じく、動物園エリア内にある宝箱の中の薬を飲めば
残り30分以降も逃走可能になる。

ただ植物園エリアの薬と、動物園エリアの薬は成分も全く違うので
植物園エリアの薬なら植物園エリア、動物園エリアの薬なら動物園
エリアのみ
逃走可能になる。

マリオ「なるほど・・・動物園エリアの宝箱の薬を飲んだら動物園
エリアが、

植物園エリアの宝箱の薬を飲んだら植物園エリアが
残り30分以降も逃げられるようになるんだな・・・」

スタッフ「簡単に言つとそつですね。」

~~~~~

フォックス「18人で10個か・・・急がねえと・・・」

宝箱を探すため、移動するフォックス。

~~~~~

数分後・・・

フォックス「宝箱あつたぜ！ここは・・・植物園の方だから動物園の方にも

行かないとな・・・」ゴクッ！

フォックス ミッションクリア 植物園エリア残り8個

フォックス「全く・・・大変なミッションだぜ・・・」

~~~~~

御坂「さて・・・ここまで追い詰められたら行くしかないか・・・」

ミッションの発動により、動き出す御坂。

御坂「動物園にずっといれば、どうにかなると思ってたけど  
それほど甘くなかったわね・・・」

動物園エリア、植物園エリアの2つともミッションがクリア出来なければ

逃げ場が無くなり、強制失格となる。

御坂「ハンターにも気を付けないといけない・・・不幸ね・・・」

ミッション、ハンターの2つに追われる逃走者たち。

果たして、逃走者たちは強制失格を免れられるのか!?

### MISSION 3 PART 3 (後書き)

現在、大谷一樹のゲーム日記のコーナー

「プロ野球ゲームで横浜ベイスターズを日本一にするには  
どのくらいかかるか」

を進行中です。

MISSION 3 PART 4 (前書き)

更新が進められない・・・

## MISSION 3 PART 4

ミッション3にミッション3 が追加され、翻弄される逃走者たち。

果たして、逃走者は生き残れるのか!?

マリオ「宝箱・・・宝箱やい、出てこい!」

宝箱を探すため、エリア内を移動するマリオ。

マリオ「宝箱発見!」

マリオ、宝箱を発見。

マリオ「えっと・・・サルいるし場所に動物園だな・・・」ゴクッ！

マリオ ミッション クリア 動物園エリア残り9個

マリオ「まだ時間残ってるし、向こうにも行ってみるかな。」

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

植物園エリア

リンク「さて・・・動物園エリアの薬を入手しに行かないと・・・」

マリオとは対象に、これから動物園エリアに向かうリンク。

ファルコン「お、リンク……」

その近くにファルコン。

リンク「ファルコンさん植物園エリアの方のクリアしました？」

ファルコン「……まだだ。」

リンク「さっき通った道にありましたよ。」

ファルコン「本当か!？」

リンク「はい!確か・・・」

自分が見つけた宝箱の位置に案内するリンク。

リンク「残り時間もキツイですからね・・・」

ファルコン「時間的にキツイ・・・ハンターいたぞリンク!」

リンク「へ?・・・うわあああ!」

ハンター「!!!!!!」

しかし、2人の向かう先にハンター……

ファルコン「また逃げなきゃいけないぜ……」

リンク「こんな所で捕まってたまるかあ！」

逃げる2人。

ハンター「!!!!」

ファルコン「またこっちに来た……」

なお、視界に捉えたのはファルコン・・・

ファルコン「負けてたまるかよ！」

逃げるファルコン。

ハンター「！！！！」

ハンターも追いかける。

その差は、なかなか縮まらない。

ファルコン「ここで捕まるのは勘弁だ・・・」

ハンター2「!!!!」

しかし、ファルコンの逃げた先にもう1体のハンター……

ファルコン「うわぁ!!最悪だよ挟まれちゃった!!」

ハンター2体に挟まれたファルコン。

ポン!

ファルコン確保 残り17人

ファルコン「あゝあ．．．挟まれてさえなかったらな．．．」



リンク「はあ．．．はあ．．．」

一方、リンクは幸運にも逃げ切っていた。

リンク「本当にハンター怖すぎるよ．．．」

ハンターにビビるリンク。

ハンター「!!!!」

しかし、近くにいた別のハンターに見つかった・・・

リンク「うわぁ・・・最悪だよ・・・」

逃げるリンク。

しかし、さっきの体力の消耗が大きかったか、どんどんスピードは落ちていく・・・

ポン！ リンク確保 残り16人

リンク「・・・もう無理・・・走れないよ・・・」

ピリリリリリ・・・

コナン「確保情報。 リンク、ファルコン確保 残り16人」

「
パルポン「やっぱりハンター6体いて動き回るのはキツイな・・・」

マリオ「マジかよ・・・これでスマブラメンバーってあと4人？」

なお、これで残っているスマブラメンバーは

マリオ、ドンキー、ピカチュウ、フォックスの4人。

翡翠「宝箱見つけたぞ！」　ゴクッ！

上条「めっちゃ時間かかった……」　ゴクッ！

鶴久保「強制失格は逃れられた……」　ゴクッ！

西京「やっと見つけた……めっちゃハンター怖いな……」　ゴクッ！

植物園エリアには人が集まっており、この時間になれば結構宝箱は見つかっていく……

翡翠煉、上条、鶴久保ゆーすけ、西京圭　ミッションクリア。
植物園宝箱残り4つ

御坂「これね・・・宝箱は」

パルポン「全く・・・厄介すぎるだろこのミッション・・・」

フォックス「よし！宝箱発見！これで両方ゲット！」

更に、動物園エリアでも続々とクリア者が・・・

御坂、パルポン、フォックス ミッション クリア 動物園宝箱残り6個

更に白熱する宝箱争奪戦！ 抜け出すのは！？

次回に続く。

ミッション途中経過

両エリア逃走可能・・・フォックス

動物園エリアミッションクリア・・・御坂、マリオ、パルポン

植物園エリアミッションクリア・・・ゆうちゃん、コナン、ピカチュウ、藤龍

翡翠、鶴久保、西京、上条

両方未クリア・・・ドンキー、ワーグナー、吉井、平沢

ゲーム残り時間 残り40分 ミッション残り時間10分

MISSION 3 PART 4 (後書き)

最近忙しくなったので

更新が未定です・・・

MISSION 3 PART 5 (前書き)

とりあえずミッション3シリーズは完結です

MISSION 3 PART 5

ミッション残り時間が10分を切り、

まだ両方ともクリアしていない逃走者はどんどん追い込まれていく・

ドンキー「オイこれ早く見つけねえと・・・」

ワグナー「・・・宝箱だいぶ減ってるだろな・・・」

吉井「さて・・・そろそろ本格的に動きますか。」

平沢「結構移動しけど見つからないよ・・・」

まだ1つもクリアしていないのは、あと4人。

ドンキー「よし！宝箱発見！」

その中でも、1番に抜けたのはドンキー……

ドンキー「よしセーフ……って宝箱が空っぽじゃないかよ……」

ではなかった……今や宝箱に入っているかどうかは分からない……

翡翠「このミッションでエリアが半分になるのは辛い・・・
両方クリアするしかないな・・・」

植物園のミッションをクリアし、
今度は動物園に向かう翡翠さん。

翡翠「あと宝箱どのくらい残ってるんだろう・・・急」・・・」

ハンター「！！！」

しかし、急いでペースを上げた矢先にハンターと鉢合わせ・・・

ポン！ 翡翠煉確保 残り15人

翡翠「うわー！！そのまま動かなかつたらよかつた・・・」

ミッションに向かうも、ハンターと鉢合わせて確保・・・

ピリリリリ・・・

マリオ「メール・・・翡翠煉確保か・・・」

ゆうちゃん「これで作者は3人目か・・・」

吉井「残り15人か・・・厳しくなってきたぞ・・・」

「ワーグナー」うん……どこにも見当たらないよ……」

宝箱を探すワーグナーさん。

「フォックス」ん？誰か来たな。」

その近くにフォックス

「ワーグナー」フォックス！こちら辺で宝箱見てない！？」

フォックス「うん．．．悪いな．．．覚えてない．．．」

ワーグナー「そうか．．．分かった。」

数分後．．．

ワーグナー「ゼエ．．．ゼエ．．．よし見つけたぞ．．．」ゴクッ！

ワーグナー ミッションクリア 動物園宝箱残り5つ

平沢「ふう．．．あの、ワーグナーさん宝箱ありませんでしたか？」

そこに少し遅れて平沢唯が到着。

ワグナー「あ．．．ゴメン、僕もクリアしてなかったから飲んじ
やった．．．」

平沢「そうですか、他を当たるしかないね．．．」

ワグナー「あつ、頑張ってくださいね！」

平沢「大丈夫です！絶対クリアしますから！」

ワグナー「フウ．．．本当に大丈夫だろうか．．．」

ドンキー「ミッションあと5分ってヤバイじゃないか・・・」

植物園エリアにいるドンキー。残り時間が迫り、焦る。

ドンキー「こいついつ時こそ落ち着くんだ・・・」

落ち着いて行動するドンキー。

ドンキー「フウ・・・だいぶ落ち着いたぜ・・・」

冷静に行動するドンキー。果たして、間に合うのか!?

平沢「さっき大丈夫って言ったけど全然見つからないよ・・・」

ドンキーと対照的に時間が迫ることに焦る平沢唯。

平沢「お願い・・・神様・・・」

神頼みの平沢。

平沢「・・・あつた！宝箱！」

そして、神が見方をしたか宝箱を発見。

平沢「ありがとう・・・恵比寿様」ゴクッ！

平沢唯 ミッションクリア 動物園宝箱残り4個

これで、ミッションを1つもクリアしていないのは

吉井明久、ドンキーコングの2人となった



ドンキー「ミッションが2分切った・・・落ち着け落ち着け・・・」

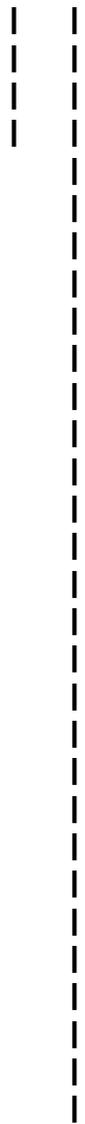
焦る気持ちを抑えるドンキー

ドンキー「お！宝箱発見！」

その結果、なんとか発見。

ドンキー「それにしても分かりにくい位置に置いてあるな・・・
焦ってたら取り逃すな・・・」ゴクッ！

ドンキーコング ミッションクリア 植物園宝箱残り3つ



そして、ドンキーコングがミッションをクリアした頃には、
ミッションの残り時間が1分30秒になっていた・・・

マリオ「ヤバいな・・・戻らないと・・・」

西京「早く戻らないと・・・」

両エリアのミッションをクリアしたフォックス以外は、

薬を飲んで逃走可能になったエリアに戻らなくてはならない。

吉井「時間無いぞ！逃げ！」

急いで探す吉井。

ハンター「！！！」

しかし、動きすぎたせいでハンターに見つかった・・・

吉井「うわぁ！今ハンター来るかよ！」

ハンターに気が付き、逃げる吉井。

ミッション残り時間30秒

吉井「くうう・・・これじゃあハンターから逃げれてもミッションが無理だ・・・」

このままでは逃げ切れないと思い、諦める吉井・・・

ポン！
吉井明久確保
残り14人

吉井「捕まったか・・・もっと早くミッションに動いとけばよか

「つたな・・・」

「ミッションに参加したのが遅かったのが、敗因となった・・・」

「ピリリリリ・・・」

ピカチュウ「確保情報・・・吉井明久確保か・・・」

上条「残り14人・・・半分切っちゃったか・・・」

藤龍「なお、ミッション3、ミッション3が終了。」

御坂「強制失格者はナシ！全員クリアできたのね・・・」

くく牢獄にてくく

翡翠（牢）「うう……捕まったよ〜！」

吉井（牢）「悔しいな……」

ネス（牢）「やっぱりミッション3難しかったか……」

翡翠（牢）「いや……ハンターが多すぎる。」

リンク（牢）「確かにね……」

サムス（自主）「本当ね。誰のせいかしら？」

ルーク「……」（ギロツ）

スリーナ「多分原因はルークさんの目線の先だと……」

i k k i 「なんだかんだ言っつて6体じゃキツイからね〜・・・」

ファルコン「全くだぜ。」

i k k i 「ちなみに今回のエリアは実際にある某動植物園をモデルにしたから

エリアの大きさ分かるんだけど、あの大きさで6体はキツイな・・・」

銃王「実際行った人がじゃあ無理な6体になぜした？」

i k k i 「そりゃあそつやっつて面白くするのが役目だから〜!」

プリン「やっぱり無茶苦茶プリ・・・」

そして、ミッション3とミッション3 が終了し

ゲーム残り時間は30分になった。

〳〳月村の部屋〳〳

月村「・・・やっぱり逃走中に異常が出たか・・・ミッション3
なんて

計画していない・・・機会が暴走している・・・」

その頃、月村は一生懸命に機械を直していた。

(原因はコーラをこぼした)

月村「クソッ！修復率50パーセントか・・・

もう一つミッションがエラーするか・・・」

悔しがる月村

月村「次は・・・ハンター増加ミッションか・・・
まだエラーしてもどうにかなるな・・・」

次のミッションがまだ安心と知り、油断する月村。

～～～
機械～～～

機械「プププー……ミッション……」

機械「ミッション、ハンターゾウカカラブラックウエザーニヘンコウシマス」

(読み取れなくてもいいです。というより読み取らない方がいいかも・・・)

そして、エリア内にハンターボックスは現れず、

エリアに黒い影が・・・

次回、前代未聞のミッション登場！

エリア表

両エリア フォックス

動物園エリア 御坂、マリオ、パルボン、ワーグナー、平沢

植物園エリア ゆうやん、コナン、ピカチュウ、西京、藤龍

鶴久保、上条、ドンキー

ゲーム残り時間30分

MISSION 3 PART 5 (後書き)

意外と早めに更新できた・・・良かった・・・

MISSION 4 PART 1 (前書き)

なんとか更新です

MISSION 4 PART 1

ピリリリリ・・・

フォックス「メール・・・ミッション4か・・・」

上条「さっきミッション3が終わったと思ったたらすぐにミッション4かよ・・・」

ワーグナー「現在、動植物園に向かって巨大な雨雲が接近中だ。雨雲？」

コナン「ゲーム残り時間22分になると雨雲がエリアに到達し、雨天決行でゲームが行われる・・・風邪ひくぞ！」

ピカチュウ「なお、ハンターの服には防水機能があるが、
君たちの服には防水機能などない・・・僕関係ないや・
」

パルポン「雨天を防ぐには、両エリアに各2個ずつあるレバーを降
ろして

4つを解除した後にはエリア中央にある時計台の指紋認証
装置に3人分の指紋を

認証させなければならない。」

西京「難易度高すぎるぜ・・・」

MISSION 4 〱降雨を回避せよ！〱

現在、エリアに向かって雨雲が接近中。

残り22分になるとエリアに到着し、雨が降り始める

逃走者の服に防水機能は無く、

雨に打たれれば服が水を吸って逃走がしにくくなる。

前方の視界不良

など、様々な障害がある。

(ハンターの服には防水機能アリ&視界不良はサングラスで)

阻止するには

1、各エリア2ずつ計4個のレバーを降ろさなければならぬ（レバーは1人で降ろせる）

2、4つすべてを降ろすと、エリア中央の時計台に3人分の指紋を
認証

（エリアは関係なし。片方のエリアで3人もOK）

3、ミッションクリア！

の2つの手順をしなければならぬ。

マリオ「雨天はイヤだな〜・・・防水機能が無いと走りにくいし・・・」

上条「これは長い時間雨が降るとイヤだな〜・・・行くか。」

西京「さて・・・ミッション行きますか！」

雨で服が濡れ、逃げにくくなればミッションクリア後も不利となる。

このミッションは、ほぼ全員が向かうようだ。

ピカチュウ「服ないし・・・別にどうでもいいか・・・」

ドンキー「俺は濡れても影響ほとんどないぞ・・・行かなくてもいいかな・・・」

この2人は、あまりミッションでの影響がないので行かないようだ。
・

御坂「さて・・・ミッション行かないと・・・」

逃走成功予想NO.1の御坂。もちろんミッションには向かうよ
うだ。

御坂「7 / 8分しかないのが辛いけ・・・ハンター来てるわね・・・」

ハンター「!!!!!!」

しかし、移動した先にはハンター・・・

御坂「ここで捕まってられないわ!」

逃げる御坂。

逃走者NO・1の走力を持っているのでハンターもほぼ互角に走っている。

御坂「これなら逃げ切れそうね・・・！！！！マジで！？」

御坂の逃げた先に・・・

御坂「植物園エリアの入り口・・・ヤバイ！」

逃げた先は、植物園エリアへの入り口。

動物園エリアしかクリアしていない御坂は、先に進むことができない！！！！

御坂「一方通行だし・・・追い詰められたわね・・・」

ハンター「!!!!」

御坂「道も狭いからフェイントもかけられない・・・ギブアップね」

ポン！
御坂美琴確保
残り13人

御坂「逃げる道も考えておけば良かったわね・・・」

逃走成功予想NO.1がまさかの確保・・・

ピリリリリリ・・・

鶴久保「確保情報・・・御坂美琴確保！」

上条「残る逃走者は13人・・・あいつ捕まったのかよ・・・」

西京「マジか・・・捕まえたハンターどんだけだよ・・・」

～～牢獄～～

ネス「御坂美琴確保！」

牢獄のその他「ええ～～！！！」

吉井「あの御坂が!？」

プリン「まだ25分以上残ってるプリ！」

翡翠「どんでん返しだね……」

ikki（牢獄の外）「そういえば、大丈夫か……雨は屋根でしのげるとして……」

雨の后台風来るってさっき天気予報が……」

全員「え!？」

サムス（自首のため外）「大丈夫。予報士って石原○純でしょ？あの人結構外れるし……」

全員「……」

ikkii「そうか・・・台風来たら避難すればいいか。」

翡翠「・・・避難というより中止でしょ・・・」

～～再開です～～

鶴久保「えつと・・・この近くにレバ・・・あった！」

偶然にも、レバーの近くにいた鶴久保さん

鶴久保「ミッションに貢献できたかな？」ガシャン！

鶴久保ゆゝすけ レバー降下成功 のこり3つ

鶴久保「ラッキー！これで成功ゆゝ！！」

ミッションに成功した鶴久保さん。他の逃走者も続けるか！？

――

西京「今回また時間が少ないから急がないと・・・」

今回も時間が少なく、急ぐ西京

西京「ハンター6体もいるからな・・・気を付けるしか・・・」

ハンターを警戒する西京さん・・・

ハンター「!!!」

しかし不幸にも、ハンターに見つかった・・・

西京「うおっ！マジかい!?!」

逃げる西京！ 逃走成功予想の2位は逃げ切れるのか!?!?

次回に続く・・・

MISSION 4 PART 1 (後書き)

あと7話ぐらいで完結させたい・・・

MISSION 4 PART 2 (前書き)

更新が不定期・・・

MISSION 4 PART 2

降雨のミッション4が始まり、ミッションに向かう逃走者たち・・・

西京「ミッションにも警戒して行かねえと・・・」

警戒してミッションに向かう西京・・・

ハンター「!!!」

しかし、ハンターに見つかった・・・

西京「うわっ！ハンターかよ！」

いち早く気が付き、逃げる西京。

西京「距離もあるし、ここら辺は曲がり角もあるから逃げ切れそうだな・・・」

距離があり、逃げ場も多くてラッキーな位置にいた西京。

西京「曲がり角を曲がればなんとかなるだろ・・・」

曲がり角を曲がる西京。

ドンキー」「うおっっ」

西京「へ！？」

ドンー！

しかし、曲がった所にドンキー・・・

——
——
——
西
——
D

（こんな感じで両方共が分からないかった。）

ドンキー「危ないぞ！」

西京「いてて・・・怪我した・・・」

予期せぬ出来事でぶつかった2人・・・

西京「！！！！ハンター来てるんだ！」

ドンキー「マジかよ!?!」

ハンター「！！！！」

しかし、2人がこうしている間にハンターは急接近・・・

西京「マズイ逃げる！」

ドンキー「最悪だー！！！」

逃げる2人・・・

ハンター「！！！！」

ハンターが視界に捉えたのは・・・

ドンキー「こっち来てるわー！！！」

ドンキーだ。

ドンキー「うう・・・ハンター速ええ・・・」

しかし、ドンキーの足ではハンターから逃げられる訳もなく・・・

ポン！ ドンキーコング確保 残り12人

ドンキー「うわぁ・・・ここで捕まったか・・・」

ピリリリリリ・・・

フォックス「確保情報・・・ドンキーコング確保か・・・」

西京「残り12人・・・悪いことしちゃったな・・・」

ピカチュウ「またスマブラ組・・・あと3人か・・・」

パルポン「この時間帯に確保はキツイな・・・」

西京「ゼエ・・・ゼエ・・・」

その頃、西京はなんとかハンターから逃れられていた。

西京「うう・・・あのぶつかった時に膝痛めた・・・」

しかし、ドンキーと衝突した際に膝を痛めていた……

西京「ミッションは無理だ……とりあえず隠れる場所探そう……」

「

ケガにより1人減ったミッション参加者。

果たして、クリアできるのか!?

パルポン「さて……レバーの位置……あゝあれか!」

ドンキーが確保された直後、パルポンさんはミッションのために動いていた。

パルポン「多分もう1個は距離があるから無理っばいけど・・・1
個クリア！」ガシヤン！

パルポン ミッションクリア 残り2つ (各エリア1個ずつ)

パルポン「さて・・・後は誰かに頼もう・・・」

ミッションを終えたパルポンさん。

ハンター「・・・」

しかし、近くにハンター……

パルポン「ん？……あれハンターだ！」

ハンターより先に気が付き、逃げるパルポンさん。

ハンター「!!!!」

しかし、動くパルポンさんをハンターが捉えた……

パルポン「ヤバい！ハンターダッシュで来てる！」

ある程度距離があつたため、なんとか間を取ることが出来たパールポ
ンさん。

ハンター「……」

何とか、ハンターの視界から消えたようだ……

パールポ「ハア……ヤバイぞ。結構体力使った……」

ミッションのレバーは残り2つ。果たして、雨が降る前にクリア出
来るか!?

フォックス「さて……俺もミッションに参加しねえとな。」

積極的にミッションに向かうフォックス。

フォックス「レバーに到着！あらよつと！」ガシャン！

フォックス ミッションクリア 残り1つ（植物園エリア）

バルボンさん&フォックスの活躍により、動物園エリア側のミッションはクリア。

残るは、植物園エリア側の1つだけとなった。

そして、レバーに1番近いのは・・・

コナン「あと3分とちょっとか・・・急いで降ろさねえと・・・」

1番近いコナンは、残り50m程度まで来ていた。

コナン「雨でぬれると終盤まで不利になる・・・これだけは避けた
い！」

急ぐコナン。

コナン「この距離じゃあ指紋認証の方は無理だ。

誰かやってくれるのを待つしかないな・・・」 ガシャン！

江戸川コナン

ミッションクリア

レバー全てクリア

ピリリリリ……

上条「え〜つと……ミッション情報」

マリオ「鶴久保ゆ〜すけ、パルポン、フォックス、江戸川コナンの活躍により

レバーは全てクリアした。よし！」

藤龍「次は中央の時計台に3人分の指紋を認証しなければならない・
・・」

鶴久保「さて……指紋認証も行きましょうか。」

4つのレバーはクリアし、第2段階へと進んだ逃走者たち。

しかし、降雨まで残り2分を切った。
果たして、濡れずにミッションクリアとなるか!?

次回に続く。

MISSION 4 PART 2 (後書き)

最近は「ゲーム日記」の方に傾いているからまた不定期かも・

(プロ野球 or ポケモンが好きな方は読んでみてください)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0901u/>

オールスター逃走中～最凶の動植物園～

2011年10月13日01時05分発行